

# 砂防 メール かごっま

発行：鹿児島県土木部砂防課・(財)鹿児島県建設技術センター

第17号 H22.3



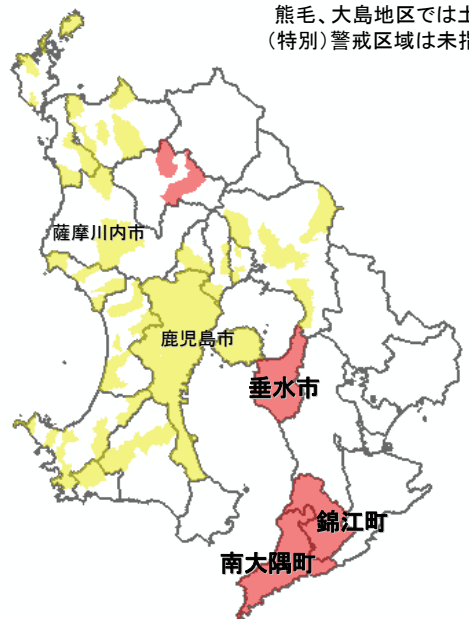
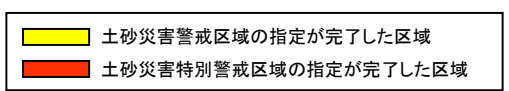
## 平成21年度土砂災害警戒区域等に関する住民アンケート調査の実施

県では、土砂災害特別警戒区域等の指定を進めており、このうち土砂災害特別警戒区域等の指定が完了した垂水市、錦江町、南大隅町の警戒区域内を2月から3月にかけて戸別訪問し、土砂災害警戒区域等に関する住民アンケート調査をNPO法人鹿児島県砂防ボランティア協会の協力を頂いて行っています。

昨年度の鹿児島市・薩摩川内市旧東郷町地区に引き続き2回目の実施となります。昨年度の戸別訪問アンケート調査結果から、住民自らが自発的に土砂災害警戒区域について情報を入手するというより、説明会の開催や広報誌等、行政からの情報に依存している現状等がわかり、今後は行政の「知らせる努力」はもとより、地域住民も「知る努力」が求められます。

戸別訪問アンケート調査を地域住民と直接面談して行った結果土砂災害に対する意識が「非常に変わった」「少し変わった」が約6~7割となっており、戸別訪問による調査は地域住民の土砂災害の認識を向上させる有効な手段の一つと考えられ、平成21年度の調査でもその効果が大きいと期待されます。

- 平成20年度
  - ・鹿児島市(旧鹿児島市地区) 調査対象世帯数:27,667世帯 回答数:7,046(25%)
  - ・薩摩川内市(旧東郷町地区) 調査対象世帯数:2,338世帯 回答数:1,135(49%)
- 平成21年度
  - ・垂水市、錦江町、南大隅町 調査対象世帯数:約10,000世帯



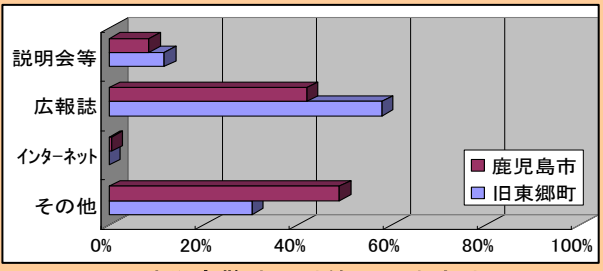
熊毛、大島地区では土砂災害(特別)警戒区域は未指定です。

土砂災害特別警戒区域等の指定状況(H22.2末時点)

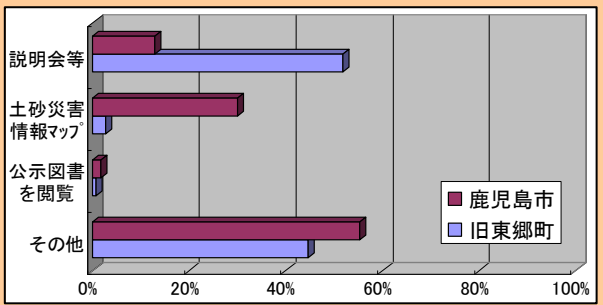


アンケート調査の様子

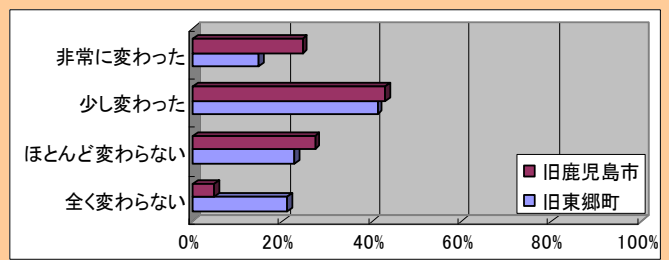
主なアンケート調査結果(平成20年度)



土砂災害警戒区域等の認識方法



土砂災害警戒区域等の指定の認識方法



戸別訪問アンケート調査後の土砂災害に対する認識の変化

## 平成21年度土砂災害防止に関する絵画・作文の受賞作品・受賞者

国土交通省と鹿児島県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、その一環として次代を担う小中学生を対象に「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」を募集しています。平成21年度は、県下14の小中学校から合計77点の作品の応募がありました。出水市立米ノ津中学校一年 山崎聖南さん(13)が作文の部で国土交通大臣賞、出水市立江内小学校三年 中尾朱里さん(9)が絵画の部で同省砂防部長賞を受賞しました。

国土交通省 砂防部長賞  
鹿児島県知事賞 最優秀賞

### 絵画部門



北薩地域振興局出水支所における表彰式(H22.3.5)



鹿児島県 出水市立江内小学校3年  
中尾 朱里(なかお あかり)

国土交通大臣賞  
鹿児島県知事賞 最優秀賞

### 作文部門

生 き て い る こ と に 感 謝	米ノ津中 学 校 一 年	山崎 聖 南	<p>一九九六年十二月十五日。身長五〇センチ、体重二八〇グラムの元氣な子が産まれました。その子の名前は山崎聖南、私です。私が産まれて、約半年がたった夏、七月十日に、私たちが住んでいる出水市針原で、土石流災害が起きました。夜中に起こった災害だったので、私たちが家族を含め、みんなその傾倒していました。</p> <p>そのとき土石流で流された方々のなかには自分の命を守るために、近くに浮いているベッドや、たたみなどにつかまって、水の中からは上がって助かった方もいます。そして同じ家の中に落ちていても寝ている場所、部屋によって、助かった人、助からなかった方がいたそうです。自分となりで子供が寝ていて、自分は助かったが、その子は助からなかったということまであったそうです。私はこのことを父、母に聞いたとき、自分の子供を亡くしてしまった方、家族の方を亡くしてしまった方がかわいそうであまりませんでした。</p> <p>その土石流災害のことは、新聞の記事にのりました。この土石流災害で落ちてきた石の大きさは私の家の大きさほどのものであったと教わりました。この土石流災害での死者は二十一名と聞き、なんてたくさんの方が亡くなったのだと思いました。</p> <p>針原には、この災害で亡くなった方々のための慰霊碑公園があります。そこには、石碑があり、私の父が書いた短歌がほつてあります。</p> <p>「針原の みかんの里」 ふたたびの 花を咲かすこ みな奮いけり」</p> <p>という歌です。十三年たった今、針原には本当にみかんの花がきれいに咲いています。この歌を書いた父やみんなの願いがしっかりと神様に届いたのだらうと思います。</p> <p>私はこの前、祖父と一緒に、慰霊碑公園に行ってみたとき、石碑に刻まれている亡くなった方の名前を見ていました。すると、一人の男の子の名前がありました。そしてその子の年齢は〇才。私が〇才のときに起こった災害なので、もし、その子が今生きていたら私と同じ年の中学一年生だと思いました。</p> <p>私は、慰霊碑公園へお参りに行ったことが何度もあります。その時、私がいつも思うことは、もし土石流災害がなくて、この方々が今でも生きていたのであれば、どんな生活をしているのだらう、どんな方になっていたのだらう、ということなのです。もしも、その赤ちゃんが生きていたら同じ中学校で、友達になっていたらどうかなと私は思います。</p> <p>私の家族は、祖父も、祖母も、父も、母も姉も私も全員が今でも生きています。私のこれまでの十三年の中で、祖父がすこいなと思ったり、お父さんがすこいな思ったり、お母さんがすこいな思ったり、お姉さんがすこいな思ったり、他の方の命を救ったことなのです。だから命を救われた方、自分でしっかりと命を守った方、今でも生きていらっしゃる方には、亡くなった方々の分まで、命を大切に、これから命長く生きてもらいたい、あらためて思っています。</p> <p>毎年、七月十日には、慰霊碑公園で、慰霊祭があります。その式では、お花を供えたり、お線香を上げたりして、お参りに似ています。でも私は、中学生なので、その式の日には学校があり、小さい頃にはお花を供えたいと思っていました。でも、大人になったら、七月十日には毎年しっかりと参加したいと思います。</p> <p>この土石流災害が起こったとき、出水市針原の自治会長さんややってきた古川守さんは、今年、病気のためになつてしまいました。古川さんは、土石流災害のときに、自分の家も被害を受けながら、亡くなった方や被害を受けた方々のためにがんばられ、復旧のために全力を尽くされた方です。私はこの話を新聞の切りぬきを見たとき、祖父などに聞いて、古川さんは、自治会のためにがんばっていただけたと思います。古川さんやみんなのがんばりがあって、針原はもとのように復旧していただけたのだと思います。</p> <p>私は、今生きていられることを心からありがたと思っています。まずは、私を生んでくれた母に感謝し、私を十三年間まで大きく育ててくれた祖父、祖母、父、母、家族に感謝しています。そして、これからもその感謝の心を忘れずに生きていこうと思います。お父さん、お母さん、家族のみんな、私が大人になってもずっと私を見守っていてほしい。</p> <p>私はこれからも亡くなった方々の分まで一杯生きていきます。</p>
--	--------------------------	--------------	--

# 平成21年度土木部優良技術者の紹介(砂防事業関係)

鹿児島県土木部では、企業及び建設技術者の意識高揚と技術の進歩、社会的評価向上のために、土木部が発注した建設工事のうち、他の模範と認められる優良な工事及び秀でた技術者を表彰しています。ここでは平成21年度優良技術者の中から、砂防関係工事の表彰者を紹介します。

## 土木部長表彰

### 総合流域防災(砂防)工事(上内山田小川工区)

発注事務所: 南薩地域振興局 施工会社: (株)上東建設



現場代理人  
田中伸治 氏

本工事は、総合流域防災(砂防)工事(上内山田小川工区)である。掘削の中間に中硬岩の堅い層があり、爆薬による発破作業を行ったが、小学校と民家が近接するため、騒音振動の公害対策として薬量を調整した分割発破を実施し振動を軽減した。また、集落入口の市道の清掃草払いを実施し、近隣住民とのコミュニケーションを大切にしながら、住民と良い関係を築くことができた。さらに、小学校児童の現場説明会を開催し植樹と記念品(携帯マイ箸)を授与し土木工事のPRIに努めた。



## 建設部長表彰

### 19急傾斜地崩壊対策工事(田中宇都3地区)

発注事務所: 鹿児島地域振興局建設部  
施工会社: (株)徳一建設 現場代理人: 富永裕康 氏



### 20急傾斜地崩壊対策工事(小野地区)

発注事務所: 鹿児島地域振興局建設部  
施工会社: こうかき建設(株) 現場代理人: 西弘樹 氏



### 急傾斜地崩壊対策工事(市来迫)

発注事務所: 始良伊佐地域振興局建設部  
施工会社: 田上建設(株) 現場代理人: 緒方和文 氏



### 通常砂防工事(磯脇川工区)

発注事務所: 始良伊佐地域振興局建設部  
施工会社: 今村建設(株) 現場代理人: 青山洋三 氏



### 総合流域防災(砂防)工事(五社上川工区)

発注事務所: 北薩地域振興局建設部  
施工会社: (株)南日本運輸建設 現場代理人: 奥蘭秀雄 氏



### 急傾斜地崩壊対策工事(上古江地区)

発注事務所: 大隅地域振興局建設部  
施工会社: (株)八木建設 現場代理人: 小川茂義 氏



### 総合流域防災(砂防)工事(荒谷工区)

発注事務所: 大隅地域振興局建設部(曾於支所)  
施工会社: 西原建設(株) 現場代理人: 砂田良治 氏



### 総合流域防災(砂防)工事(上囲の小川)

発注事務所: 大隅地域振興局建設部(曾於支所)  
施工会社: 大平建設(株) 現場代理人: 目串有次 氏



## 「砂防技術検討会」(主催:砂防課)の開催

砂防事業に携わる技術系職員の業務執行能力・技術力向上を目的として、「砂防技術検討会」を平成21年度に計4回開催し、延べ150人の職員の参加がありました。県職員を内部講師とした事例発表や外部講師を招いての講義を通じて基礎的な知識を習得できるだけでなく、技術系職員同士が議論することのできる貴重な場として好評いただいております、引き続き来年度も開催していく予定です。

◎ H21年度 実施(第1回～第4回)

(講義)

- ・安全な地域づくりをめざして
- ・災害関連事業の流れ及び事例説明
- ・砂防課システム(土砂災害発生予測システム)の内容説明及び活用方法
- ・土石流・流木対策設計技術指針について
- ・二川地区の災害復興について
- ・アマダ川における施工実績
- ・地すべり調査概論
- ・地すべり対策工概論
- ・地すべり事例
- ・鋼製砂防えん堤技術基準改正について
- ・国土交通大学校「砂防研修」の報告

(グループ討議)

- ・現場がかかえる技術的課題について
- ・砂防工事へのソイルセメント工法の適用普及について
- ・砂防事業の円滑な推進



砂防技術検討会の様子

# 「平成21年度砂防技術研修会」

## (主催:NPO法人鹿児島県砂防ボランティア協会)の開催

平成22年2月19日「ウエルビューかごしま」にてNPO法人鹿児島県砂防ボランティア協会主催(後援:鹿児島県・鹿児島県市町村社会基盤整備推進協議会)の「平成21年度砂防技術研修会」が開催されました。

この研修会は、砂防ボランティア協会の会員がこれまでの経験・技術力を活かし、砂防施設等の巡視点検・周辺住民への啓発活動などを実施しているボランティア活動のさらなる技術研鑽を図ろうと催されるものです。当日は同じく砂防行政に携わる県及び市町村職員の皆様にも御参加頂きました。

上拾石理事長の挨拶の後、国土交通省大隅河川国道事務所の武士俊也所長の来賓挨拶に引き続き、鹿児島大学農学部の下川悦郎教授から「土砂災害発生場の予知—表層崩壊と深層崩壊—」、(社)全国治水砂防協会の岡本正男理事長から「土砂災害から学ぶ」と題した技術講話が、鹿児島県土木部の伊藤仁志砂防課長から「最近の砂防行政を取り巻く話題」と題した行政報告があり、116名の参加者は今後のボランティア活動等に参考にしようと熱心に聞き入っていました。



砂防技術研修会の様子

## 「土砂災害防止の集い2010」(主催:砂防課)のご案内

平成22年5月10日(月)13:00~16:30に市町村自治会館(鹿児島市鴨池新町7-4(県庁前))で「土砂災害防止の集い2010」が開催されます。近年発生した土砂災害を振り返り、その実態・対応状況・今後の取り組み等について意見交換を行います。

これからの防災を考える貴重な機会ですので、是非ご参加ください。

### ■基調講演 その1

「平成21年7月九州北部豪雨災害  
福岡県篠栗町における被害の状況  
と復旧に向けて」



三浦 正氏  
(篠栗町長)

平成21年7月福岡県篠栗町では土石流の発生により2名の尊い命が失われました。土砂災害の実態と行政としての復旧への取り組み等について、講演をいただきます。

### ■基調講演 その2

「警戒避難に関するアンケート結果」



亀江 幸二氏  
(全国治水砂防協会常務理事)

昨年度全市町村を対象に実施した警戒避難に関するアンケート調査の結果に基づき、市町村の持つ課題及び国や都道府県、関係機関に今後求められる土砂災害のソフト対策等について講演をいただきます。

### プログラム

- 基調講演 その1 (13:10 - 13:50)  
「平成21年7月九州北部豪雨災害福岡県篠栗町における被害の状況と復旧に向けて」  
三浦 正 福岡県篠栗町篠栗町長
- 基調講演 その2 (13:50 - 14:20)  
「警戒避難に関するアンケート結果」  
亀江 幸二 全国治水砂防協会常務理事
- パネルディスカッション (14:20 - 16:20)  
「わがまちの防災対策 ~自助・共助の確立~」  
○コーディネーター  
地頭 隆 鹿児島大学農学部准教授
- パネラー  
玉泉 照雄 鹿児島市中名下自治会安心安全部長  
竹畑 國輝 湧水町民生委員・児童協議会会長  
萩原 了 薩摩川内市立平佐西小学校校長  
水迫 順一 垂水市長  
伊藤 仁志 鹿児島県土木部砂防課長

### 編集後記

今年度最後の砂防メールとなりました。本県の砂防行政にまつわる各種の記事を掲載し、各県の砂防担当部署や県選出の国会議員・県会議員などに広く愛読いただきました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

今年度は幸いに大きな土砂災害はなかったこともあって、7月の山口の土砂災害を教訓としたソフト面の充実などに係る記事が多かったような気がします。今後も内容のさらなる充実を図り、本県の砂防行政に係る有益な情報発信源となるよう取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続き愛読いただきますようお願いいたします。

年度が明けるとまた、梅雨の時期がやってきます。4年連続犠牲者ゼロを目指して、日頃からの防災への備えを怠らず頑張りたいものです。

(編集長 技術補佐 U・K )

ご意見・ご感想お寄せ下さい

TEL:099-286-3616 FAX:099-286-5627

E-MAIL: [sabou@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:sabou@pref.kagoshima.lg.jp)

鹿児島県ホームページ: <http://www.pref.kagoshima.jp/>

土砂災害警報システムホームページ: <http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>

“みんなで防ごう土砂災害”